

心不全について

川口市立医療センター

集中治療科

あしだ ただし
足田 匡史



ご存じでしょうか心不全。予防が肝要です。

1. 心不全とは

日本循環器学会/日本心不全学会合同ガイドライン「急性・慢性心不全診療ガイドライン」の中で、「心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。」と定義されています。

2. 患者数

現在、日本ではどのくらいの患者数が存在し、今後どのくらい増加すると思いますか？2015年度の循環器疾患診療実態調査報告書によると、心不全による入院患者数は23万8千余人で年に1万人以上増加しています。今後、高齢化に伴い心不全患者数がさらに増加していく見込みです。医療費・人的コストの圧迫は必至であり、現在の医療水準の維持のためには患者数の増加を抑えることが肝要です。

3. 心不全ステージ

A、B、C、Dの4つのステージに分類され、AからDへ病期が進行していきます。症状のないA・Bと、症状があり入院加療が必要なC・Dの大きく二つに分類されます。A・Bのステージは、心不全を発症する前の予備軍と考えられています。すなわち高血圧症・糖尿病などを有している患者群となります。AとBの違いに関しては心臓にひずみを生じているか否かで分かります(心臓超音波検査で心肥大などの有無となります)。

4. 予防

症状のあるステージへの進行を抑制するためには、高血圧・糖尿病の管理(生活習慣の改善、内服加療など)が必要です。日頃から、減塩・禁煙・運動・節酒などを心がけましょう。